

2012 **米**
9月号

原水協通信

BULLETIN OF THE JAPAN COUNCIL AGAINST A&H BOMBS

原水爆禁止日本協議会

発行人 安井正和
毎月1回 6日発行
定価 220円
電話 (03) 5842-6031
FAX (03) 5842-6033
http://www.antiatom.org/
Email: antiatom55@hotmail.com
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4



〔編集〕原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 Tel (06) 6765-2552 FAX [06] 6765-2837

秋の国連総会にむけて署名と原爆展の飛躍を

大会参加者を先頭に 6・9行動に取り組みましょう

2012年原水爆禁止世界大会の取り組みありがとうございました。本当にお疲れ様でした。

今年の大会は、国際会議に220人、世界大会 - 広島に7200人、世界大会 - 長崎に1700人と9000人を超える国内からの代表、海外から政府・国際機関代表7人を含む20カ国64人の代表の参加で成功を収めました。うち大阪からは431名の代表、阪口伸六高石市長も長崎大会・国際交流フォーラムに参加しました。

潘基文(パン・ギムン)国連事務総長が大会へのメッセージを寄せ、アンゲラ・ケイン国連軍縮問題上級代表がその代理として出席し、「私は核兵器廃絶という偉大な目標をめざす活動において、皆さんのパートナーであることを光栄に思います」との国連事務総長の言葉(メッセージ)は、参加者を限りなく励ました。

大会では、昨年2月に開始した「核兵器全面禁止のアピール」署名が210万筆を超えたこと、4月からとりくまれている原爆写真展が400カ所以上で開催されていることが発表されました。



国際会議宣言では、「2010年NPT再検討会議は、『核兵器のない世界の平和と安全』を実現することに合意した。この実行こそが問われている」と強調し、核兵器の非人道性を告発するとともに、非人道的、非道徳的な核兵器は法によって禁止し、廃絶されなければならないこと、核兵器禁止条約の交渉開始を求める国際世論の発展をよびかけました。また、原発依存からの脱却と自然エネルギーへの転換を求める、広範な運動との連帯をさらに発展させることをよびかけました。

いま世界大会の成功と感動を力に、大会参加者を先頭にした奮闘がはじまっています。世界大会の諸決議に応じて、大会代表を先頭に6・9行動を地域・職場・学園で成功させ、秋の国連総会に向けて署名と原爆展の飛躍を起こしましょう。

- ①世界大会記録集と原水協通信9月号を活用して、大会報告会を旺盛にひろげ、9月の6・9行動を皮切りに新アピール署名を大きくすすめましょう。日本原水協が10月国連総会に派遣する要請代表団に数百万の署名を託しましょう。
- ②全市町村での原爆展開催をめざしましょう。労働組合の大会や各団体の行事、地域の秋祭り会場など、多様な場所で原爆写真パネルを展示しましょう。
- ③自治体への働きかけを強めましょう。9月地方議会開催と併せて、世界大会記録集、原水協通信9月号を持って自治体首長・議長を訪ね、世界大会の成果を伝え、全住民を対象とした署名と原爆展への協力をよびかけましょう。

2013年度版

いわさきちひろカレンダー

—今年も是非お求め下さい—

2013年度版のカレンダーが出来上がり9月から発送可能です。

例年10月から本格的な普及活動を行ってきましたが、他のカレンダーも出回っていることから早い段階での取り組みが重要です。そこで各加盟団体の皆様には恐縮ですが9月から普及の予約活動を始めていただくようお願いいたします。予め25部を単位にカレンダーを引き取っていただき(送料無料)、現物をみせて普及していただくと効果抜群です。昨年実績を上回る普及にご協力をお願いします(還元金あり・申込み用紙は二面に印刷してあります)。



《大判A2版 絵7枚→1部1400円》

原爆症認定集団訴訟 (当面の日程)

全て大阪地裁ですが、裁判内容によって法廷が変わりますのでご注意ください。

- ◎ 9月11日(火) 午前11時30分~12時
806号法廷
新・却下取り消し訴訟
- ◎ 9月19日(水) 午前10時30分~12時
午後1時30分~5時
202号法廷
義務付け訴訟
- ◎ 10月2日(火) 午前10時30分~12時
午後1時30分~5時
202号法廷
新・却下取り消し訴訟

大飯原発の再稼働ストップ
—福島原発事故の放射能被害者救済を最優先に— 原水協は訴えます!

6・9行動

〈大阪原水協は〉

10/9(火) 昼休み 12時15分~上六近鉄前